

# 朝来市で栽培したハバネロを使った加工品の製造・販売

## きっかけ

◆ 吉井建設有限会社（朝来市）は、地域の竹林を整備し、竹を土作りに活用する研究に取り組むため、約30年前に農業分野へ参入。地域の方から農地を任されるようになり規模を拡大。2016年に株式会社三大を設立。

◆ カプサイシンの研究をしたい大学からの依頼でハバネロを栽培。残ったハバネロの活用方法を検討するなかで、ハバネロには食害がないことからヒントを得て、野生動物忌避剤「ハバネロシールド®」を大学との共同研究で開発。同社の主力商品となる。

## 取組内容

◆ ハバネロシールド®、ハバネロ乾燥ホール品、乾燥唐辛子などを製造。ハバネロシールド®は主に鉄道事業者へ販売。その他の加工品は、ふるさと納税返礼品やECサイトなどで販売。

◆ ハバネロシールド®は、イノシシ、シカ、イタチなどの野生動物に幅広く対応。同忌避剤が最大限の効果を発揮できるよう、販売開始前の事前ヒアリング、現地調査、散布指導を徹底するため業務用のみ販売。

◆ 竹、米ぬか、もろみ酢、もみがらを混ぜて、自社でサイレージ発酵させた竹パウダーを土作りに使用。土壌の微生物が活性化し肥料の吸収率アップなどの効果がある。

◆ 当社は、広く人脈を築くことで鉄道事業者への販路を開拓した。積極的に地域外に打って出ることが大事である。

## 今後の展望

◆ 規模の大小にかかわらず、農業を生業とする人達がアイデアを出し合いながら協力・成長していけるような農業のあり方を地域でつくっていききたい。

◆ 地域全体をブランディングし、交流人口を増やしていきたい。

## 株式会社三大

◆ 所在地  
兵庫県朝来市

◆ お話を伺った方  
代表取締役 吉井忠大

◆ 取組内容  
・主に水稻、ハバネロ、唐辛子を栽培  
・ハバネロ加工品の製造販売  
・栽培には竹やもろみ酢を活用した土作りを実施



代表取締役の吉井忠大さんと、自社栽培のコシヒカリ「もろみ米」



ハバネロシールド®の散布指導  
（画像提供：株式会社三大）



野生動物忌避剤  
「ハバネロシールド®」  
（画像提供：株式会社三大）



ハバネロ乾燥ホール品

2025年10月14日調査